

みやはら耳鼻科通信

発行/ 医療法人 南輝 〒702-8034 岡山市南区福浜西町6番17号 ☎086-237-4133

木曜日の診療開始！
診療時間 8:00～12:30

LINEでお得なクーポン
配信！登録はコチラ⇒



ヒノキ花粉症が始まります！

スギ花粉で苦労していた皆さん、ご注意ください！ここからヒノキ花粉症の季節です！

花粉飛散数は、昨年のスギやヒノキが雄花を作り始める時期（6～7月）の気象条件が大きく影響します。この時期に日照時間が多いと花芽がよく成長し、翌年の花粉飛散数が多くなります。そして今年のスギが大飛散したのですが、同じような条件で花粉が飛びやすいのがスギと同じヒノキ科の植物のヒノキなのです。

実はスギ花粉症の6割の方はヒノキ花粉症を持っているのです。気をつけたいのがスギ花粉症は3月中旬頃に飛散のピークを迎えますが2週間ぐらい遅れてヒノキ花粉が4月にピークを迎えるのです。

この「2週間位のタイムラグ」が要注意でして…。3月の終わりごろにようやく鼻が楽になったと思って薬を飲むのをやめるといきなり4月に入って激しいヒノキ花粉症の症状に悩まされる可能性が高いです。



みやはら耳鼻科 公式チャンネル

耳鼻咽喉科専門医が
日常に役立つ情報を配信中！



「花粉症」といえば「スギ花粉症」が非常に有名なのですが、鼻の症状でいえば実は「ヒノキ花粉症」の方が強く出るので、やっかいなのです。

なぜかという、ヒノキ花粉は粒子がスギ花粉のものより小さいため、鼻や目の症状が激しくなりやすいのです。

特にゴールデンウィークにかけては要注意です。鼻や目の症状はまだ続く上にクリニックはお休み。あるいはやっていたとしても飛び石での診療となるため、非常に混み合います。毎年、春は4月上旬では花粉症の症状が終わらず4月末や5月以降まで困る方、あるいは今年初めて、さらには久しぶりにスギ花粉症で困った方は4月に鼻や目が困らなくなってもしっかりお薬をのんで、ヒノキの来襲に備えましょう。

そしてヒノキかどうかわかっていればより対策を立てやすい。注射は嫌だなと思ってアレルギー検査を受けたことがない方に朗報です!!! ヒノキ花粉症も30分でわかるのです。ちなみに30分でわかる検査というのはドロップスクリーンという機械でしてこれを当院では6台保有しております。もしヒノキ花粉症かな・・・とお悩みの方は次ページをご覧ください。指にスタンプするだけで、注射もしなくて済む、この検査お勧めです！アレルギー検査をお探しなら当院へ|岡山市南区のみやはら耳鼻咽喉科
miyaharajibika.com

この検査が気になる方は以下のQRコードをご覧ください！

▼詳しくはコチラ▼



注射をしない！

**41種類のアレルギーが
30分でわかります！**

- ・指先からの少量の血液(1~2滴)で検査ができます！
- ・1歳のお子様でも簡単に検査可能です！

保険
適用



春。入学や卒業や入職といった節目の季節ですね。今年は3月に入った途端ポカポカ陽気で、いろんな春が頭をめぐりました。今なんで私がここで耳鼻科クリニックをしているのかということともつながっているので「わたしの春」をちょっと筆をおこしてみました。

小学校 低学年。暖かい日差しの中、ひたすら鼻水をかみまくっている自分がいました。私はスギ花粉症だったんですね。もちろん薬ものんでないのでティッシュでは追いつかずロールペーパーでかんでいるあり様でした。今は舌下免疫治療（シダキュア）を始めたおかげで春は鼻の症状で困ることはなくなりましたが。小学校中学年。春休みは母親の実家である岡山市内の耳鼻科クリニックに帰省していました。夜クリニックについたら弟と一緒にレセプト（医療機関が保険者に提出する月ごとの診療報酬明細書）の整理をしていたスタッフにそっっと近づいて行って「ワッ！！」と驚かせていた悪ガキでした。

小学校 高学年。母の兄の耳鼻科医に憧れて卒業文集には将来の目標に「叔父のような医者になりたい」と書いてました。もっとも伯父からは「漢字が違ುದろ！」と突っ込まれましたが。

中学生。もともと通学や通勤に長い時間がかかるのが大嫌いで、高校に行くなら自転車で行ける距離がいいと思い、さらに本を読むのが好きで、ものすごい大きな図書館を持っている高校があり大学の附属校でもあったので受験しました。受かったのは良かったのですが、よく考えたら附属校で大半がエスカレーター式にその大学に行くので受験勉強とは、程遠い雰囲気。それで大学受験をするなら、逆に向いていないのではと思い直し公立の高校に進学することにしました。

高校生。大学受験で一次試験が8割を切り、これは医学部は無理だな…と思いつつ、その時1番入りやすかった琉球大学医学部を受験することにしました。琉球大学を受験したいと言ったとき、いいよと言いつつ父親の顔色がさっと青ざめたことが印象的でした。子の父となって、それが「どえらく遠いところに行く」ので心配だっただなというのが最近になって理解できました…。そして不合格でしたが、その時の沖縄は、なぜか何十年ぶりかの寒さで薄いタオルケットしかなく普通に服を着たままタオルケットにくるまって寝たり、なんとなく入った映画館で見たアニメ「うる星やつら ビューティフルドリーマー」のすごさに戦慄した事は懐かしい思い出です。それにしても押井守監督恐るべし。

浪人。現役の時の落ちてから予備校の流儀で、1日15時間の勉強を課し、7月まで継続したことで成績は伸長！この猛勉はその後の人生で自分のバックボーンになっている気がします。このときの貯金が生きて、何とか一浪で大学入学ができました。

大学生。剣道部は楽しかったが、試験のパレード、しかももともと実験系は全く興味がなく、完全に修行状態。それに加えて、医師国家試験はとんでもなかった。本当に「ただの暗記」をひたすらやるだけの部分がびっくりするぐらい多いのもあってやる気も全く出ずで自己採点では、ギリギリの成績で合格しました。この時だけはもう戻りたくない。ほんときつかった…。

研修医。大学の医局の方針で、2年目で何もまだできないのに足摺岬近くの病院に一人医長（その耳鼻科に1人しか医師がいない状態）で赴任することになりました。気管切開必要になったらどうしよう…とかものすごい不安でしたが、その病院の医局では自分が1番下っ端で、外科や内科の先生に可愛がってもらって仕事が終わって居酒屋「竹の子」やカラオケに行ったり週末はテニスや野球をしたりとかで1年間と言う短い時間でしたが、本当に楽しかった。

総合病院での勤務。この病院では、上司が頭頸部ガンの手術のスペシャリストだったため、岡山市内からの難易度の高いガンが集結。結果、朝から日付けが変わるまでする手術が多いときには、毎週のようにあり、凄まじい展開でした。この時、たくさんのいろいろな患者さんの診察をさせてもらったり、手術やその術後管理で鍛えられたおかげで、朝の8時から夜の8時まで休憩を取らずに外来をするような展開になっても耐えられる体力や精神力をつけさせてもらいました。

耳鼻科クリニックを開業。2月1日に開業したので、この時の春はスギ花粉の飛散が少ないのも相まって全然患者さんが来られず、ものすごいドキドキしながら毎日を過ごしていたのが懐かしいです。そしてこの春。開業して16年たちますが、スギ花粉の飛び方が開業前年の時以来くらいの凄まじさで、ものすごい沢山の患者さんに来院していただきました。当院を受診してくださった患者さん、さらに**ここまで私を育ててくれた皆さまやスタッフの皆さんに感謝申し上げます。これからも日々精進して参りますので、よろしく願いいたします。**